



阿蘇医療センター

んがっながら 創りだす 新しい阿蘇
～ ONLY ONE の世界へ～

阿蘇市

阿蘇医療センターの紹介

【基本理念】

本院は、地域の中核病院として、地域の医療機関や関連施設等と連携を図りながら、患者の視点に立った医療の提供を実践し、地域住民の健康維持と福祉の向上に貢献する

➤ 病床数：124床 （一般120床:うち包括21床）（感染症4床）

➤ 診療科

内科,循環器内科,脳神経外科,小児科,消化器外科,整形外科
歯科口腔外科,糖尿病・代謝内分泌内科,血液内科,腎臓内科
乳腺内分泌外科,消化器外科,消化器内科,腫瘍内科,脳神経内科
リウマチ膠原病内科,呼吸器内科,小児科専門外来,耳鼻咽喉科

➤ 外来化学療法室：看護師2名

認定看護師：3名

感染管理認定看護師：1名(2013年)

がん化学療法看護認定看護師：1名(2015年)

認知症看護認定看護師：1名(2017年)

日本緩和医療学会暫定指導医 1名(非常勤)

がん化学療法看護認定看護師 1名

がん相談員研修修了 5名

緩和ケアチーム研修修了 5名

がん登録実務初級 1名

がん医療ネットワークシニアナビゲーター 1名(非常勤)

阿蘇地域におけるがん診療の現状

熊本県のがん診療連携拠点病院とは

熊本県では、県民の皆様が「質の高いがん医療」を受けることができるように、その拠点となる医療機関として、国指定の都道府県がん診療連携拠点病院1カ所、地域がん診療連携拠点病院6カ所、熊本県指定がん診療連携拠点病院12カ所のがん拠点病院を整備しています。

阿蘇

(阿蘇市、南小国町、小国町、産山村、高森町、西原村、南阿蘇村)

診断時住所2次医療圏別登録数 563件

推進人口(H30.10.1現在) 60,994人

がん診療連携拠点病院R元年度までない状態だった。

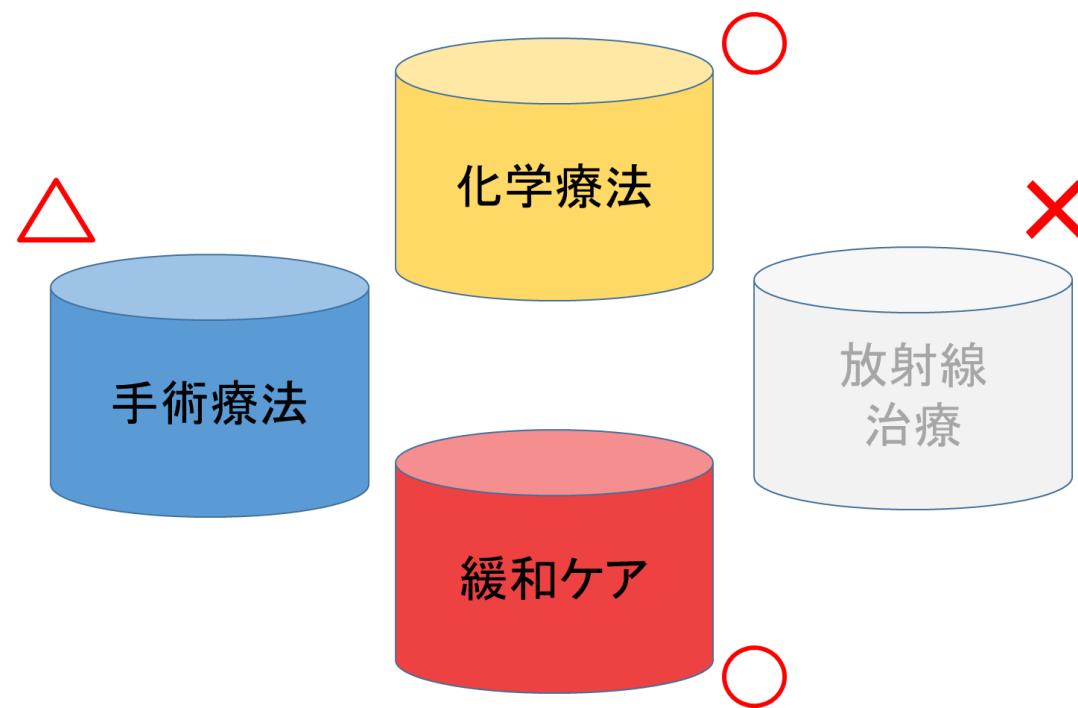
令和2年4月1日
熊本県がん診療連携拠点病院の指定を受ける。

阿蘇における臓器別がん患者数



「熊本県のがん登録」より

当院で可能ながん治療



熊本県指定がん診療連携拠点病院指定までの取組み

- 2014年 8月 : 阿蘇医療センター(旧阿蘇中央病院) 外来化学療法室開設
がん治療連携指導料届出受理
- 2015年 7月 : がん化学療法看護認定看護師
9月 : 外来化学療法加算Ⅱ届出受理
- 2016年 4月 : 消化器外科常勤医師着任
: 熊本地震
7月 : レジメン管理委員会
9月 : 安全キャビネット購入
10月 : 薬剤部調合開始
11月 : 外来化学療法加算Ⅰ届出受理
- 2017年10月 : 胃がんのオプジーボ® 4コース実施
(県外の大学病院)
12月 : 入院患者を病棟で化学療法実施
- 2018年 4月 : がんサロン「笑がお」開始
第2木曜日13:30~15:30 当院1F講堂
: Cancer Board開始
- 7月 : 国立病院機構熊本医療センター境健爾先生着任 (1回/月)
- 2019年 1月 : Cancer Board 境健爾先生 (1回/月)
5月 : 指定申請WGキックオフ
(隔週1回【医師・看護師等12名程度】)
設置要綱に対して当院の状況、課題等の協議
がん相談支援センター、緩和ケアチーム 設置
- 7月 : インフューザーポンプを使用するレジメン登録
8月 : 熊本県指定がん診療連携拠点病院指定 申請
9月 : 阿蘇郡市養護教諭部会研修会
がんサロン「笑がお」世話人講演
- 2020年4月 : 熊本県指定がん診療連携拠点病院指定
COVID-19のためCancer Board、がんサロン中止
6月 : 緩和ケア スクリーニングシート (外来) 開始
- 2020年7月 : オンライン Cancer Board 再開
12月 : がん治療連携計画暫定料届出

当院の外来化学療法室



• 病床数：3床

ベッド2床

リクライニングチェア1床

がん化学療法患者：13名

リウマチ治療患者：1名

(2020年9月現在)

外来化学療法室 担当医師

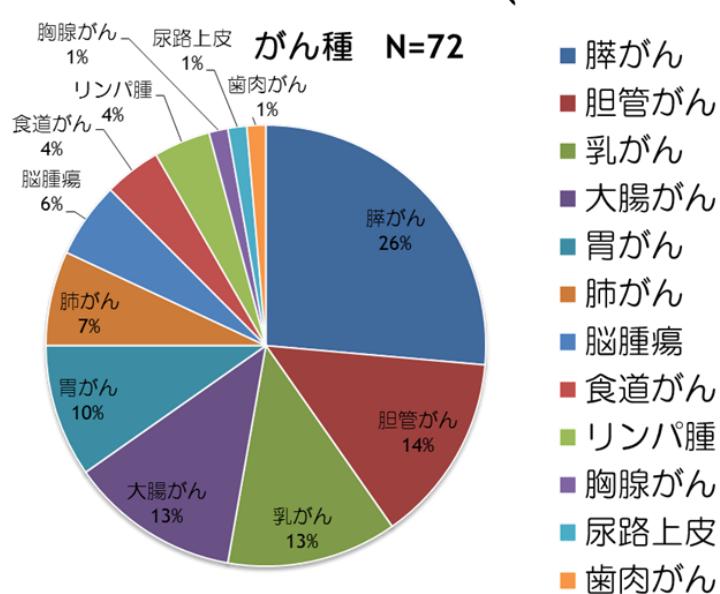
当院の1Fフロア



	月	火	水	木	金
午前	岩瀬 乳腺内分泌科 熊本市民病院 第2月曜 消化器内科 非常勤医師	古閑 消化器外科 常勤医 甲斐院長 脳外 呼吸器内科 非常勤医師	近本 消化器外科 熊本大学病院 毎週水曜 第2水曜日のみ火曜日 消化器内科 非常勤医師	古閑 消化器外科 常勤医 甲斐院長 脳外 境健爾 腫瘍内科 熊本医療センター 第3木曜	呼吸器内科 非常勤医師 消化器内科 非常勤医師
午後	鈴島 血液内科 くまもと森都 総合病院 第2月曜 消化器内科 非常勤医師	古閑 消化器外科 常勤医 湯本 内科 常勤医	中村 (リウマチ) 桜十字病院 第3水曜 (午前+午後) 消化器内科 非常勤医師	古閑 消化器外科 常勤医 湯本 内科 常勤医	消化器内科 非常勤医師

当院の外来化学療法①

がん種 N=72 (外来+病棟)



がん種	
膵がん	19
胆管がん	10
乳がん	9
大腸がん	9
胃がん	7
肺癌	5
脳腫瘍	4
食道がん	3
リンパ腫	3
胸腺がん	1
尿路上皮	1
歯肉がん	1

当院で多いレジメン

がん種	レジメン	回数
膵がん	GEM+nabPTX	14
膵がん	GEM単剤	8
胆管がん	GC	7
胆管がん	GS	6
大腸がん	Bev+IRIS	6

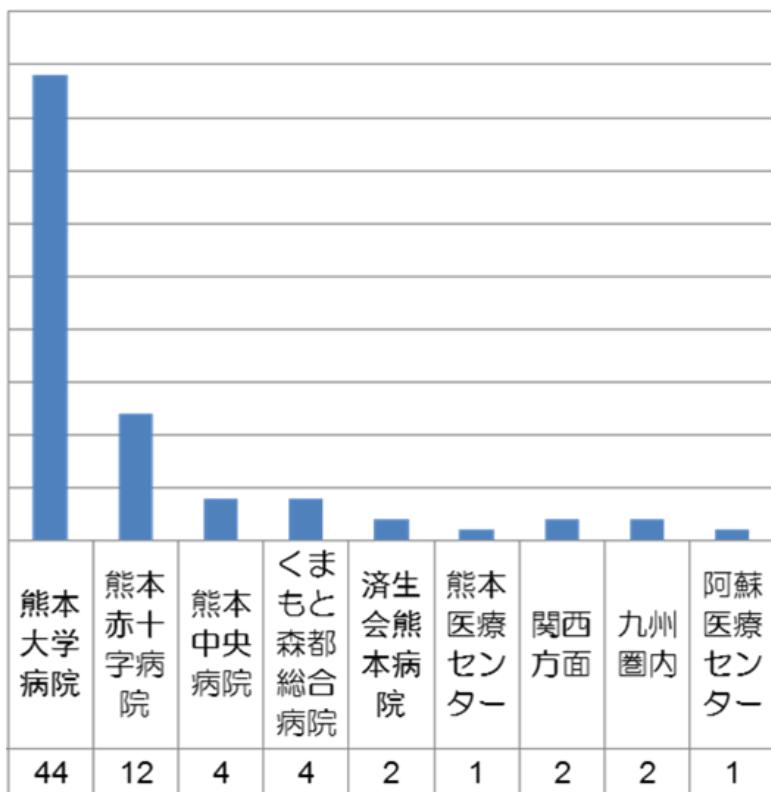
上位
膵がん,胆管がん,乳がん,大腸がん,胃がん,肺癌
の中で多く選ばれているレジメン。

紹介元と地域別 N=72

- N=72名 (外来: 63名+病棟: 9名)

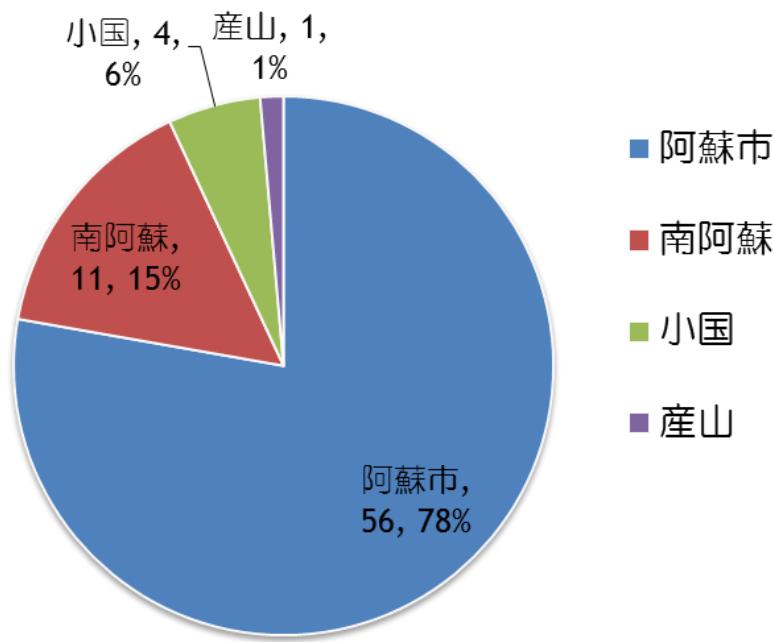
※入院下での治療が必要であったレジメン=2名

(食道がん: FP療法/胃がん: FOLFOX4)



紹介元 N=72

患者 地域別 N=72

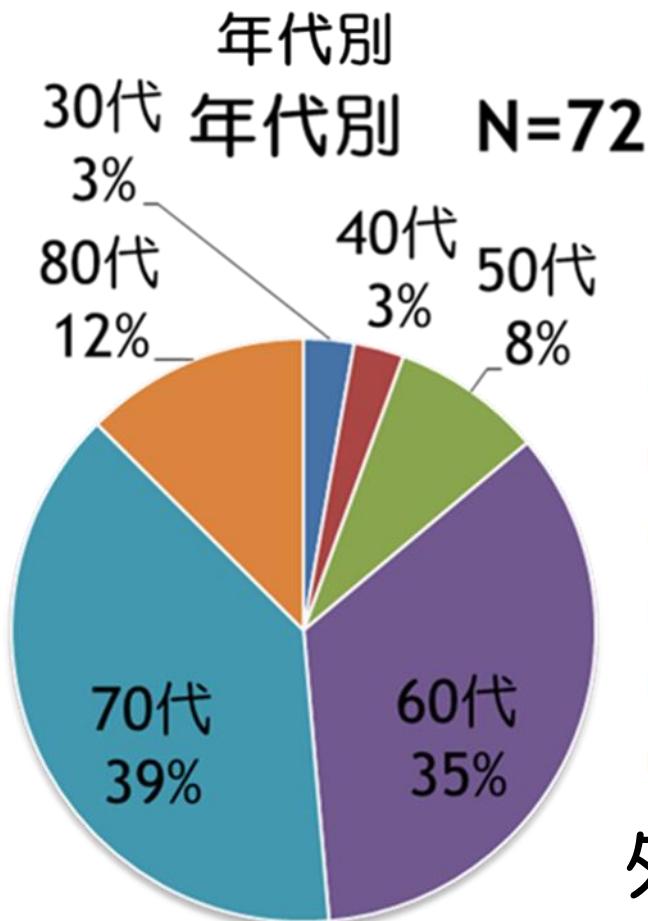


阿蘇市: 56名 (波野在住: 3名)

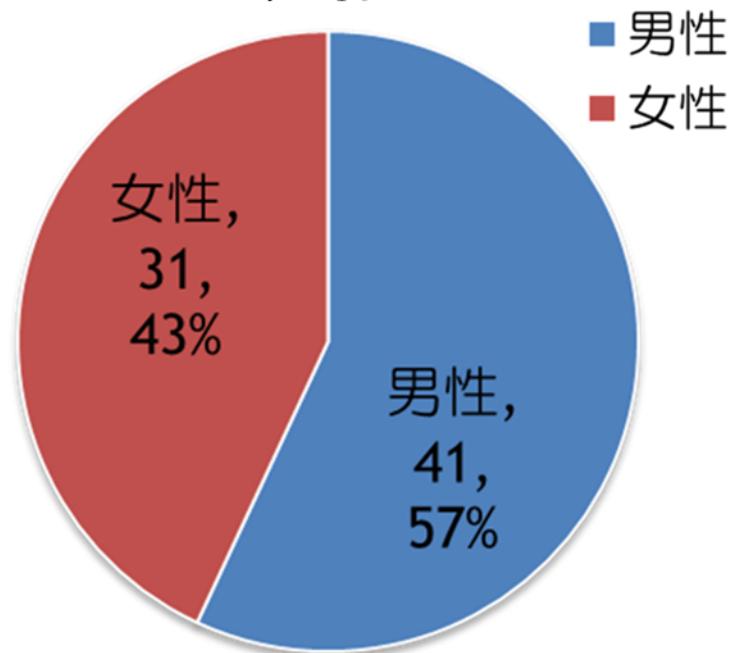
2015年 (平成27年) 4月~2020年8月末まで (外来+病棟)

当院の外来化学療法②

年代別と性別 N=72



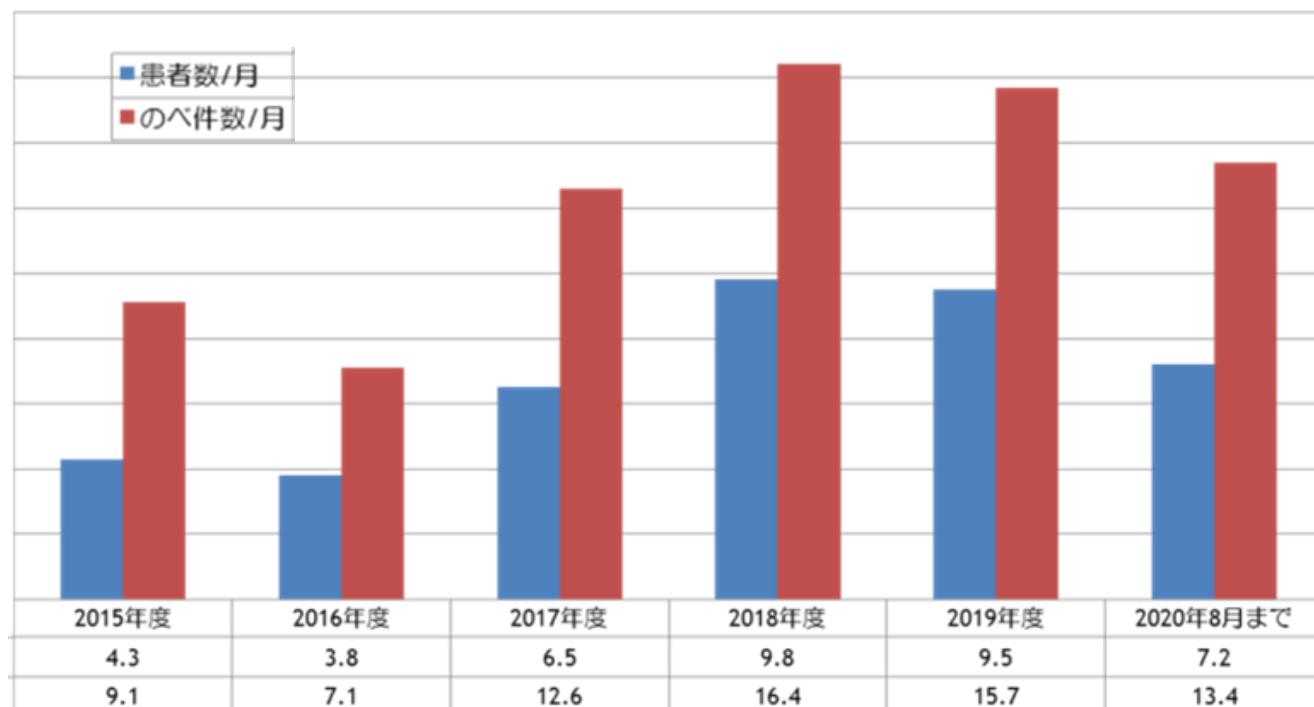
性別



2015年（平成27年）4月～2020年8月末まで（外来+病棟）

外来治療患者数と治療件数 N=63

外来治療患者数と治療件数 月（単位）平均



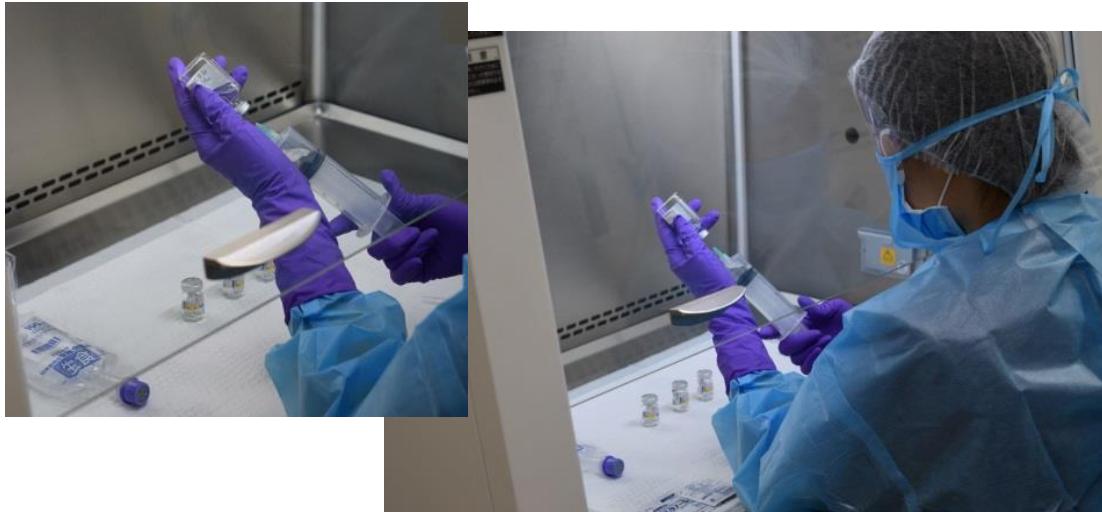
2015年（平成27年）4月～2020年8月末まで（外来）

治療件数/年	
2015年度	110
2016年度	85
2017年度	151
2018年度	197
2019年度	188
2020年8月まで	67+α

登録レジメン数： **38** （2020年9月現在）

当院の外来化学療法③

抗悪性腫瘍薬の無菌調製



2016年10月13日より薬剤師が抗悪性腫瘍薬を無菌的に調製して、外来化学療法室に届けています。

外来化学療法室での薬剤師の介入

【薬剤師からのお願い】

お薬手帳と抗がん剤のパフレットを持ってベッドにお休みください。



阿蘇医療センター 薬剤部

- 化学療法室で治療の説明や副作用の確認をしています。
- 患者様に同意を得た上で、お薬手帳に治療の情報や注意していただく副作用など記載しています。

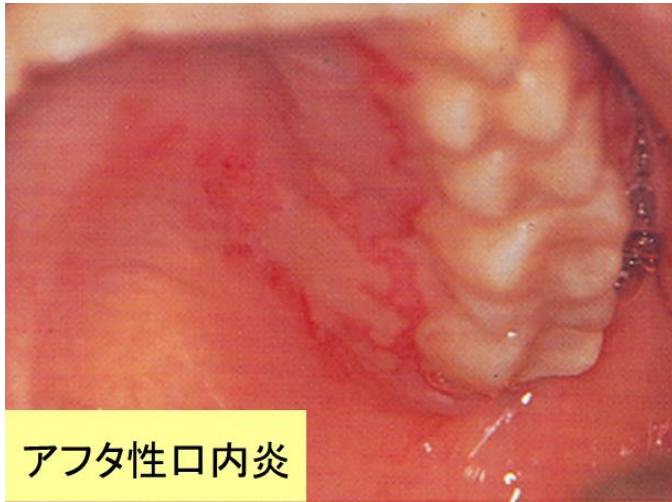
化学療法～当日の流れ～



血液検査結果
40分-60分

- 診察までの間に...
- 全身状態のモニタリング
 - 副作用のマネジメントおよびセルフケア支援
 - 緩和ケアスクリーニングシートへの記入

緩和ケアにおける歯科口腔外科の主な役割



アフタ性口内炎



ヘルペス性口内炎

歯科口腔外科では、専門的口腔ケアを行うことで周術期の口腔管理を行います

口内炎: stomatitis

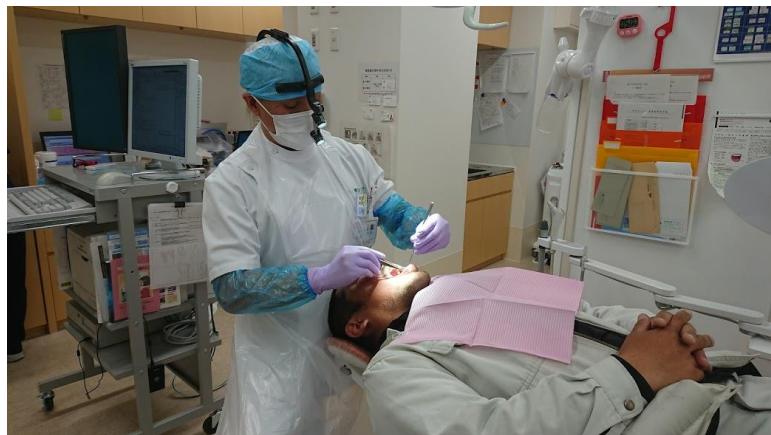
口腔粘膜炎: oral mucositis



『専門的口腔ケア』を行うことで、これらの事象を予防します



口腔粘膜炎



当院での緩和ケア治療

✓ 本年度より正式に緩和ケアチーム発足

医師2名 歯科医師1名 看護師6名 薬剤師3名
理学療法士1名 管理栄養士1名 社会福祉士2名

✓ 外来、入院の緩和ケア症例を毎週検討している

	令和 元年度	令和 2年度	4月	5月	6月	7月	8月
緩和ケアチーム依頼件数	48		9	16	15	17	22
緩和ケアチーム新規患者数	13		2	4	3	5	2

✓ 新たに導入した治療

○在宅持続皮下注射

内服困難、疼痛の強い患者様に対して在宅での鎮痛剤（医療用麻薬）を使用することができます

メリット

- 内服が飲めない方
- 内服や貼り薬と比べて効果の発現が早い
ため、早急に疼痛コントロールが可能



○腹水濾過濃縮再静注法

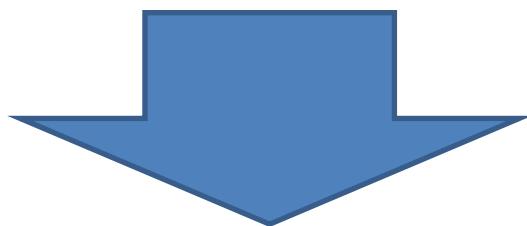
癌による腹水に困っている方に腹水から、細菌、がん細胞や血球成分をとりのぞき、有用成分を濃縮する操作を行います

- ◇テルフュージョン小型シリンジポンプ TE-361
2019年7月 導入
- ◇CADD-Legacy PCA Model 6300
2020年2月 導入
- ◇CART（腹水濾過濃縮再静注法）
2020年11月 導入



阿蘇地域におけるがん診療の課題とこれから

- ✓ 高齢者が多い
- ✓ 癌治療の専門施設が少ない
- ✓ 熊本市内への距離が遠い



当院が阿蘇地域のがん診療の拠点となることで・・・

- ✓ がん診療専門職（医師、看護師、薬剤師、社会福祉士など）を増やす
- ✓ 市内まで行かなくても抗がん剤治療ができるようになる
- ✓ 在宅も含めた緩和ケア体制を確立する
- ✓ 癌の手術も積極的に行い・・・



緩和ケアチーム 委員長
消化器外科 古閑 悠輝 医師

できる限り阿蘇地域で完結できるがん治療を目指します！！